

秋田市教育委員会
会 議 録

令和5年7月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和5年7月定例会会議録

1 日 時 令和5年7月27日（木曜日）
午前9時～午後2時35分

2 場 所 正庁

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
生涯学習室参事
秋田商業高等学校副校長
秋田商業高等学校事務長
秋田商業高等学校教諭
御所野学院高等学校教頭
御所野学院高等学校事務長
御所野学院高等学校教諭
美大附属高等学院副校長
美大附属高等学院教諭
総務課長補佐

学校教育課長補佐
総務課副参事
学校教育課副参事
教育研究所副参事
学校教育課副参事
教育研究所副参事
学校教育課副参事
学校教育課副参事
教育研究所副参事
教育研究所副参事
学校教育課副参事
学校適正配置推進室副参事
生涯学習室副参事
教育研究所主席主査
教育研究所主席主査
総務課主査
総務課主査
総務課主任

5 議 題

【付議案件】

議案第9号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

議案第10号 令和6年度使用秋田市立小学校教科用図書の採択に関する件

議案第11号 令和6年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書
の採択に関する件

議案第12号 令和6年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書
の採択に関する件

議案第13号 令和6年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書
の採択に関する件

【教育長等の報告】

- (1) 令和5年度教育委員会の点検・評価について
- (2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (3) 令和5年度「20+3歳のつどい」の警備について

6 議 事 午前9時開会

【令和5年6月定例会会議録の承認】

令和5年6月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

教育長 本日の定例会について、議案5件と報告3件があり、この中でも議案第10号の小学校教科書採択は、質疑や意見集約に特に時間を要するものと考えられる。

従って、議案第9号および議案第11号から議案第13号までの高等学校等の教科書採択の審議と、報告(1)から(3)を先に行い、最後に小学校教科書採択の議案第10号の審議を行いたいと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、議案第9号、議案第11号、議案第12号、議案第13号、報告(1)、報告(2)、報告(3)、議案第10号の順に審議することに決定した。

議案第9号 秋田市社会教育委員の委嘱に関する件

教育長 議案第9号「秋田市社会教育委員の委嘱に関する件」について、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

※ 議案第9号については、全員賛成により、議決された。

議案第11号 令和6年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書採択に関

する件

教育長 議案第11号「令和6年度使用秋田市立秋田商業高等学校教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

秋田商業高等学校副校長 (学校の概要について説明)

秋田商業高等学校教諭 (資料に基づき説明)

委員 昨年、選択した時は、平成に作成された教科書が何件かあった。今回は、全て令和になってるということは、学習内容が変わり、新しくなったということか。

秋田商業高等学校教諭 そのとおりである。令和4年度入学生から新教育課程になっている。そのため、今年度は、全ての学年で新しい教科書に変更した。

教育長 秋田商業高等学校は、ビジネス実践に非常に力を入れているが、ビジネス関係の教科書を選ぶ際に大切にしている点を教えてほしい。

秋田商業高等学校教諭 実質教科書を発行してるのは、4社しかない。そのうちほぼ全ての科目が2社で構成されているので、できる限り偏りのないように選定している。また、TACという会社は、資格取得に定評があり、そのような実績を踏まえ、簿記の科目で選定している。

※ 議案第11号については、全員賛成により、議決された。

議案第12号 令和6年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書の採択に関する件

教育長 議案第12号「令和6年度使用秋田市立御所野学院高等学校教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願

う。

御所野学院高等学校教頭

(学校の概要について説明)

御所野学院高等学校教諭

(資料に基づき説明)

教育長

説明によると、数学での学力差が大きいことや理科の教科書の選定についてもわかりやすいものを選定しているとのことであったが、文系を志望する生徒が多いということか。

御所野学院高等学校教諭

そのとおりである。今の3年生、2年生ともに文系の割合が例年よりも増えている。特に2年生は、文系の割合が全体の6割5分程度である。

教育長

そのため、数学Ⅲや物理の生徒需要数が10であるのか。

御所野学院高等学校教諭

そのとおりである。

委員

数学は学力差もあるため、上位層と下位層に分け、上位層には、問題集を使って補っていくということは理解した。最近、大学進学を目指す生徒がすごく増えているので、国語や英語なども大学受験には必要な科目となってくるかと思うが、どのように指導しているのか。

御所野学院高等学校教諭

英語に関しては、数学と同じように指導している。

また、国語に関しては、教科書の内容が新学習指導要領になったこともあり、教科書そのものが非常に洗練されてきているため、基礎・基本は授業を中心に行っている。さらに大学進学を目指す生徒は、放課後の講座で、問題集等を活用しながら指導している。

委員

外国語の英語コミュニケーションⅠからⅢとあるが、ⅠとⅡは啓林館で、Ⅲは増進堂を選択しているが、統一していない理由を教えてください。

御所野学院高等学校教諭

教科書の難易度に違いがあることから、比較検討し、違う

会社を選択している。

※ 議案第12号については、全員賛成により、議決された。

議案第13号 令和6年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書の採択
に関する件

教育長 議案第13号「令和6年度使用秋田公立美術大学附属高等学院教科用図書の採択に関する件」について、事務局から説明願う。

美術大学附属高等学院副校長 (学校の概要について説明)

美術大学附属高等学院教諭 (資料に基づき説明)

委員 美術を専門としている学校の特色から、デザインなどを意識して、教科書を選択しているのか。

美術大学附属高等学院教諭 本学院の生徒は、美術に興味・関心を持って入学してきている。そのため、色使いやデザインに関心も高く、デザインや色使いなどを配慮することによって、生徒の意欲がわきやすくなると考えている。例えば、国語についても、単元の内容に美術や芸術作品が載っている教科書を選ぶということがあった。

委員 地理総合の検定済年は、令和3年と令和4年のどちらか。美術を学ぶ学校であるが、デザイン史は、文部科学省著作の唯一の教科書であることからこの教科書を選んでいるのか。

また、インテリア計画の方もこの教科書しか選択肢がないことから、平成24年に検定された教科書を選んでいるのか。教科書の選択肢がないということは、デザインの授業の中で教科書は、あまり使われないものなのか、それとも需要がな

いことから、繰り返し改訂されていないということなのか。

美術大学附属高等学院教諭

地理総合の検定済みは、令和3年である。

インテリア計画およびデザイン集の教科書に関して、どのように授業で使われているかについては、インテリア計画は2年生および3年生のデザイン科のインテリアデザインコースの授業において、基礎を学ぶために使用している。おそらく、他校では、インテリアを学ぶ科は多くはないと思われるので、新たな教科書が発行されていないものと推測されている。

続いてデザイン史については、2年生および3年生全員が使用している。デザイン史については、国語、地理・歴史、公民、数学、理科、外国語と同様に定期考査を行っている。定期考査の範囲を示す上でも、教科書が必要であることから、資料も用いながら、教科書を基にした授業を行っている。

委員

生徒ごとに学力の差はあると思われるが、教科書を選択したポイントを教えてほしい。

美術大学附属高等学院教諭

本校の入学試験は、秋田県の公立高等学校の試験よりも、易しい問題を出題している。また、そのほかにデッサン試験もあり、受検対策として、そちらも重視しているためか、中学校の学習内容が完全に身に付いていないという生徒もいる。

そのため、中学校の学習内容との接続が図りやすいような教科書を選んでいる。

教育長

大学進学を希望した生徒への国語や英語などの学力アップについては、どのような方策を講じているのか。

美術大学附属高等学院教諭

国語と外国語に関しては、大学共通テスト受験希望者に対しては、2年生の夏休みから補習を行っている。

※ 議案第13号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 令和5年度教育委員会の点検・評価について

教育長 報告(1)令和5年度教育委員会の点検・評価について、事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(2)学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 築山小と中通小の統合検討委員会について、資料に記載がないが、中通小からは、どのような意見があったのか。

また、今までは、年に1回程度、検討委員会を開催していたということだが、今後も同じ頻度で開催していくのか。

学校適正配置推進室長 中通小から統合に関する意見は、特になかったが、秋田南中の老朽化に伴う改築計画を説明したところ、もっと具体的な内容を示してほしいという要望があった。今後の検討委員会については、秋田南中の改築計画の詳細が分かる資料を提供した上で、再度、開催し、意見を集約していきたいと考えている。

委員 感想となるが、この度、教育委員会学校訪問で太平小、下北手小の両校を訪問する機会があったが、どちらの小学校も

令和6年の統合に向けて、児童の交流を図ったり、地域の誇りを心に刻む取り組みをするなど、計画的に進められていた。地域の理解と後押しがあつてのことだと思う。今後も他の統合等に向け、丁寧な説明をお願いしたいと思う。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 令和5年度「20+3歳のつどい」の警備について

教育長 報告(3)令和5年度「20+3歳のつどい」の警備について、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 20+3歳のつどいを開催するということで当事者も喜んでいるように思う。現時点で何名程度が申込みしているのか。

生涯学習室長 本日朝の時点で970名の登録があり、参加率は4割程度になっている。20歳から2年後に22歳のつどいを行った自治体のデータでは平均の参加率が9パーセント程度だったようであり、それと比較すると、秋田市は参加率が高く、皆さん楽しみにしていただいていると感じている。

委員 警備体制はどのようになっているか。

生涯学習室長 渋滞対策として、市の職員2人がエントランスで誘導を行うほか、民間の交通誘導業者10人を配置し、車両の誘導等を行うこととしている。また、ミルハスへお越しになる際、公共交通機関を使うようアナウンスしている。

委員 ミルハスで開催するのは初めてになるため、CNAアリーナ★あきたで行ってきたことを踏襲することはできないと思う。様々な問題が出ると思われるが、ぜひ円滑に進む

ように、配慮してほしい。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。8月定例会については、8月21日月曜日午後4時から開催する予定である。

教育長 8月定例会は、8月21日月曜日午後4時から開催予定と
のことである。委員の皆様、よろしく願います。

議案第10号 令和6年度使用秋田市立小学校教科用図書採択に関する件

教育長 審議に入る前に、これまでの経緯等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 資料について、事務局から説明願う。

学校教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 審議の方法について確認する。採択対象の発行者全てが審議の対象となるが、選定委員会の答申を参考にしつつ、審議したいと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、選定委員会の答申を参考に審議することとした。

教育長 議案第10号の審議に入るが、委員より、光村図書出版の編集協力者となっていることから退席する旨の申出があったので、認める。

また、光村図書出版が関わる国語、書写、生活、英語、道徳について、先に審議したいと思うがどうか。

※ 異議がなかったため、国語、書写、生活、英語、道徳を先に審議することに決定した。

教育長 それでは、委員は退席願う。

 (委員退席)

教育長 それでは、「国語」から審議する。「国語」の推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「国語」は、「東京書籍」、「光村図書出版」が推薦されている。

 (審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 「情報社会における情報との関わり方」を比較すると、東京書籍の方は、情報が非常に多く、著作権やSNSの情報に注意するなど様々な内容が取り上げられていると思った。光村図書出版は、授業での取り上げられ方として答えが書いてあるのではなく、この題材を基にして、子供たちに考えさせるという内容になっており、私は光村図書出版の方がすごく考えられていると感じた。

委員 どちらの教科書もステップを踏んでいるように思った。東京書籍は、振り返りや見直す取り組みでステップを踏んでおり、分かりやすく授業展開されている。

 光村図書出版は、最後の振り返りがすごく丁寧な印象を受けた。また、最後に子供たちに問い掛けが入っており、授業を受けた上で改めて、最後に子供たちに対して考えさせるという部分が良いと思う。また、導入の部分にも工夫を感じた。導入と最後の振り返りの部分で、光村図書出版を推薦する。

委員 光村図書出版の方が視覚に訴える構成になっていると感じた。特に1年生の1番最初に絵が出てくる。その絵から春を

想像させるような導入の仕方が良い。東京書籍は、メディアリテラシーについて、国語の範疇の中で非常に分かりやすくまとめられているが、国語でやるのは、限界があるのかなとも感じたので、他の教科とうまく組み合わせて行うのが良いかと思った。以上から、光村図書出版を推薦する。

教育長

両社とも内容が非常に明確で、狙いに迫っておりどちらも意識して取り組まれていると感じた。また、言葉に着目したページを大事にしているというところも共通している点だと思った。その中でも、光村図書出版の方がやや多いように感じた。東京書籍は、情報量が多いことに加え、学習の流れの誘導を強く感じられた。

光村図書出版は、子供たちがどのような内容なのかを自身で考えて進めて行く内容となっている。どちらかというとなら光村図書出版の方が使いやすいと感じた。

「国語」については、「光村図書出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「国語」については、「光村図書出版」を採択することにした。

教育長

次に、「書写」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長

「書写」は、「東京書籍」、「光村図書出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員

書写に関しては、目で見ただけで、直感的に分かりやすい教

科書が良いと思う。東京書籍は、姿勢がとても分かりやすい。

また、左利きの子供にとっても分かりやすいように左手の鉛筆の持ち方についても記載があるのは、他社にはない部分である。光村図書出版は、「はね」、「はらい」、「書き順」が非常に分かりやすく記載されているように感じた。

委員

書写に関しては、分かりやすさが重要だと思う。どこの会社も二次元バーコードが充実しており、光村図書出版は、細かく様々な角度から写したりと丁寧と感じた。東京書籍も1字1字解説が付いていたり工夫されていて、分かりやすく書写を学べると感じた。総合的に考えて、光村図書出版を推薦する。

委員

東京書籍は、国語の教科書との関連を意識しているページが多いと感じた。国語の教科書が東京書籍でなければ、取り扱っていない題材が出てきたりして、やりづらい場面もあるのではないかと。よって、光村図書出版を推薦する。

教育長

両社とも硬筆・毛筆の指導について、丁寧な取扱いをしている。手紙、はがき、リーフレットの書き方についても、両社とも充実している。光村図書出版の方が、毛筆の導入部分で手厚くなっているように感じた。また、毛筆の指導に関しても、若い教師も増えており、用具の片付け方まで載っている方が使い勝手が良いのではないかと。

「書写」については、「光村図書出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「書写」については、「光村図書出版」を採択することにした。

教育長 次に、「生活」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「生活」は、「教育出版」、「光村図書出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 教育出版が取り上げている写真に出てくる子供たちの様子に多様性を感じる部分が多い。キャラクターを用いて、子供たちが自身で考えていくような工夫がされている部分が良いと思う。

委員 光村図書出版は、時々ページの右側に子供たちが言語化しにくい部分をフォローしている。また、内容についても楽しいと感じるような内容となっている。

教育出版は、車椅子に乗った子供や外国籍の子供が印象的であった。都会であれば、様々な国籍の子供などに触れる機会もあるかと思うが、秋田の場合は、まだまだ外国籍の子供と触れ合う機会は少ないと思われるので、その部分では、導入の写真にインパクトがあるのが良いと感じた。また、構成についても非常に分かりやすい。総合的に考えて、教育出版を推薦する。

委員 光村図書出版は、様々な写真が載っていて、見ていて楽しい教科書だと思った。また、教科書の表紙を防水のような素材にするなど工夫が凝らされていると感じた。

教育出版の方は、外国籍の子供や障がいのある子供などを掲載していたり、「ちょっと隣の方にも心遣いしようよ」というメッセージ性を感じた。そのような部分から子供たちの

想像力や考える力が育まれるのではないかと思う。総合的に考え、教育出版を推薦する。

教育長

光村図書出版は、それぞれの単元で、自分のこれまでの生活体験をイエス・ノー形式で振り返ると、今後の目標を考えるきっかけになるようなクイズがあるなど、教科書の作り方に温かみを感じた。

教育出版の方は、直接的な書き方をされていて、低学年の子供たちにも分かりやすいのではないかと思った。

「生活」については、「教育出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「生活」については、「教育出版」を採択することに決定した。

教育長

次に、「英語」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長

「英語」は、「東京書籍」、「三省堂」が推薦されている。
(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員

東京書籍が各レッスンの後、授業の流れの中に応用的な部分が語学を超えて組み込まれていると感じた。

アプリを試してみたが、単語1個ずつしか出てこなかったため、今後、改善してほしい。総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員

東京書籍は、内容を見ると英語が通じる喜びを感じてほしいという視点で教科書が作られているのではないかと感じた。

小学校段階のため、会話や英語が通じる喜びを重視した方

が、導入段階で英語を嫌いにならないと思う。よって、東京書籍を推薦する。

委員

東京書籍の方が、日本語で様々な説明が記載してあり、英語が苦手な子供も使いやすいのではないかと思います。

また、東京書籍の二次元バーコードは利用できたが、三省堂の二次元バーコードは、現段階では準備中のため、利用できなかった。二次元バーコードでの動画を利用すれば、自宅での学習にも活用できるのではないかと感じた。総合的に判断して、東京書籍を推薦する。

教育長

東京書籍と三省堂を比べたときに、5年生の段階から、書く場面が多いのは東京書籍の方だと感じた。子供たちは、英語に出会うと、アルファベットを書きたくなる。各場面で早い段階から書くことを位置付けているのは、東京書籍かと思った。また、外国の異文化に触れるという点でも、その題材がそれぞれのユニットごとに大変面白く、良い題材が揃っていると感じた。

「英語」については、「東京書籍」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「英語」については、「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長

次に、「道徳」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長

「道徳」は、「東京書籍」、「光村図書出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員

東京書籍は、殺処分される犬の立場になって書いた文章や14歳で亡くなった女の子の母親に宛てた手紙などを教材としており、すごく印象に残る題材であった。光村図書出版は、温かみのある題材で、随時、振り返り等を行い、構成に力を入れているように感じた。その上で考えたときに、東京書籍の題材を使用した際、指導する教師の経験の差などが生じるのではないかと思った。最近では、若い教師も多いので、教師によって差が出にくい光村図書出版の方が良いのではないかと思う。よって、光村図書出版を推薦する。

委員

東京書籍では、法律についての説明が大々的に取り上げられており、非常に良いことが書かれていると思った。

しかし、法律については、小学生にとって、難易度が高すぎるのではないか。

光村図書出版では、物語から法律の根底を流れる考え方を学べ、入り込みやすいのではないかと感じた。総合的にみて、光村図書出版を推薦する。

委員

結論から言うと、光村図書出版を推薦する。道徳とは、学ぶというより考えさせる教科だと思う。また、答えは、多種多様であって良いと思っている。光村図書出版の方が、考えるヒントがあり、子供たちに考えさせる内容になっていると感じた。また、大館市の曲げわっぱが取り上げられているなど、子供たちにとっても親近感が湧きやすいと思う。

教育長

東京書籍の方が、新しい情報、いじめ防止対策推進法、子どもの権利条約を特設ページで記載しているのは大変良いと思う。しかし、それらをしっかり理解して、捉えられるかと

いうと難しさがあるのではないか。光村図書出版が記載している寄り添う気持ちや考え方のような方が、子供たちにとっても感じやすいのではないかと思った。

「道徳」については、「光村図書出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「道徳」については、「光村図書出版」を採択することに決定した。

(委員入室)

教育長 次に、「社会」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「社会」は、「東京書籍」、「教育出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 東京書籍の4年生の4コマCMを作るという題材が興味深い。4コマCMを作るには、その地方の特色を端的に表現する能力や様々な周辺知識を学ぶ必要があるため、非常に面白い題材だと思う。総合的に判断し、東京書籍を推薦する。

委員 東京書籍の方が、問い掛けが多い印象を受けた。それにより、子供たちに取組を促すような機会が与えられていると思う。

それを繰り返すことにより、子供たちが自分たちで学んだことを最後にもう1回考えるという習慣ができるのではないか。総合的に判断し、東京書籍を推薦する。

委員 結論から言えば、東京書籍を推薦する。

東京書籍の方が、まとめるという観点からすれば、工夫されているポイントが多いのではないかと思う。

委員

教育出版は、巧みに子供たちを課題解決に導いていくという工夫がなされ、追求する力を高める内容となっているように感じる。

東京書籍は、学び方を高めることに力を入れている内容となっている。教育現場では、社会科は教えにくいという意見があるので、教師としても、何をすべきか、今何を考えるべきかというようなナビゲーションがあるということが、小学校段階の子供たちが学びを構築していくという上で、大変丁寧なのではないかと捉えている。よって、東京書籍を推薦する。

教育長

両社とも関心や意欲、課題意識を高める工夫はなされているが、若干、東京書籍の方が手厚い印象を受けた。

それぞれの単元で使われている写真、図、資料などについても、若干ではあるが、東京書籍の方がより大きな写真や図を用いており、量も豊富だと感じた。

5年生の食料生産では、東京書籍より教育出版の方が、子供たちにとって身近な表現がなされているように感じた。

「社会」については、「東京書籍」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「社会」については、「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長

次に、「地図」について審議を行う。推薦の主な理由等に

ついて、事務局から説明願う。

学校教育課長 「地図」は、「東京書籍」、「帝国書院」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 地図記号などについても、帝国書院の方が、1つ1つを大きく丁寧に説明しており、小学生にとって分かりやすいような内容になっているように感じた。

東京書籍のデータのまとめ方も非常に素晴らしく、大人が読んでも非常に面白い内容となっているが、小学生が地図に触れて親しむという観点からすると、帝国書院の方が適当ではないかと思う。総合的にみて、帝国書院を推薦する。

委員 3年生という発達の段階を考えると、字の大きさや情報量に関して、帝国書院の方が、段階に応じた導入に向け、工夫して分かりやすいものになっていると思う。

また、ゲームやクイズを用いて、地図にどのようにして親しんでもらうかというところに重きを置き、地図を子供たちにとって身近なものにしようというコンセプトが感じられるところがとても魅力があると感じた。

一方、東京書籍も非常に興味深い情報が掲載されているが、3年生から使用するということを考えると難易度の問題もあるため、帝国書院を推薦する。

委員 東京書籍の方が詳しく、様々な情報が載っているが、3年生から使うことを考えると難易度が高すぎるように感じた。

秋田県と山形県にまたがる鳥海山の読み仮名を「ちょうかいさん(ちょうかいざん)」としてほしい。総合的にみて、帝国書院を推薦する。

委員 地図を3年生が使うということで、帝国書院は、情報を盛り込み過ぎない地図と5、6年生になって詳しく習うときの地図の2つに分かれている点が子供たちにとっても勉強しやすいかと思う。また、縮尺の位置も全部上に統一されている点が、見やすい。総合的にみて、帝国書院を推薦する。

教育長 帝国書院の地図の使い方に関するページがとても丁寧で楽しく、また、発達の段階を意識した地図の示し方、歴史、防災マップの作り方など、様々なところに心配りをしている点が素晴らしいと感じる。

「地図」については、「帝国書院」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「地図」については、「帝国書院」を採択することに決定した。

【教育長等の報告】

(4) 教育委員会所管事業の専決処分について

教育長 ここで、急遽ではあるが、報告(4)教育委員会所管事業の専決処分について、事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)

※ 報告(4)については、以上のとおり終了した。

【付議案件】

教育長 それでは、議案第10号を再開し、「算数」から審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「算数」は、「東京書籍」、「教育出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 教育出版は、「求めましょう」の前に「解き方を考えましょう」の工程があり、算数が苦手な子供に優しい教科書だと感じた。

また、応用部分も丁寧にステップが踏まれており、使いやすい。総合的に考え、教育出版を推薦する。

委員 東京書籍のノート作りがとても丁寧だと思う。ノート作りは、秋田市でも大事にしている部分でもある。自分の考えを整理したり、友達の考えを書いたり、それを振り返っていくというノート作りの学びの深さに導いていっているなど感心している。

一方、教育出版は、普段の生活と結び付けながら授業を展開していくことが、より子供たちの学習の定着にも繋がるものとする。よって、総合的に考え、教育出版を推薦する。

委員 教育出版の方が自身で考える場面が多いように感じた。それに比べ、東京書籍は、答えのようなヒントが多いように感じられ、教師が授業で教科書を使う際に、答えのような吹き出しがあると邪魔になるのではないかと感じた。

総合的に考えて、教育出版を推薦する。

委員 東京書籍は、デジタルコンテンツが豊富で読みやすく感じた。

一方の教育出版には、様々な吹き出しが書かれており、苦手な子供たちにもヒントになる。また、それだけではなく、別の面からの解き方など様々な工夫がなされた作りになって

いる。総合的に考え、教育出版を推薦する。

教育長

東京書籍の吹き出しにも文末が言い切らない形になっており、そこから考えさせる手立てになっている。

一方、教育出版の吹き出しは、考え方のヒントが多く、子供たちが考える場面を増やすのではないかと感じた。

また、導入の観点では、教育出版の組み立ての方が、これから始まる学習に意欲を持たせる工夫がなされているように感じた。

「算数」については、「教育出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「算数」については、「教育出版」を採択することに決定した。

教育長

次に、「理科」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長

「理科」は、「東京書籍」、「大日本図書」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員

東京書籍の方が、分かりやすく構成されており、問題解決への過程も東京書籍の方が、自然な流れのように感じた。総合的に考え、東京書籍を推薦する。

委員

両社ともに丁寧に導入を行っており、分かりやすく作られているように感じた。

先に知識を学ぶ大日本図書と実験から知識を学ぶ東京書籍と違いはあるが、総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員 東京書籍の方が応用部分も含め、流れを重視しており、分かりやすい構成になっているように感じた。総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員 どちらも考察を大切にして構成されていると感心している。
大日本図書は、観察や実験においての手順の内容が非常に分かりやすく提示されており、授業の基本的な技能の習得に繋がることを期待していることがうかがえた。

東京書籍の内容が非常に生活科の気付きや学びを引き継いだ内容を十分に生かしているように感じた。生活科のときにもっと知りたいといった思いを理科の中で、またさらに取り入れていく手法が子供たちには分かりやすく興味を持てるものになっていると感じた。以上から、東京書籍を推薦する。

教育長 両社ともに、問題解決型の学習に配慮してページ構成されているように感じた。

東京書籍の導入の方が、生活の中の体験から気付きに繋げる工夫が感じられた。

「理科」については、「東京書籍」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「理科」については、「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長 次に、「音楽」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「音楽」は、「教育出版」、「教育芸術社」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員

教育芸術社の方が、鑑賞したときの自分の気付きを書き込むメモ欄も充実していることに加え、流れがしっかりしているように感じた。総合的に考え、教育芸術社を推薦する。

委員

両社ともに音楽を通して子供たちの心を豊かに育みたいという気持ちが伝わってきた。

また、どちらも多様性を感じられ、教育出版は、外国語の歌唱曲や合唱にも使用できる楽曲を取り入れたことにプラスして手話という形で表現しようとしたところに大変魅力がある。

一方、教育芸術社においては、リズムやゲームなどの遊びを取り入れながら、音楽の楽しみ方や表現に対する多様性を心掛けていると感じた。

特に教育芸術社の二次元バーコードから、ICT機器を活用して、音やリズムを入力して、自分たちで音を聞いたり、作ったりできるということを教科書に盛り込んだという点が大変魅力であると感じた。以上のことから、教育芸術社を推薦する。

委員

教育芸術社は、6年生の頃から著作権について記載があり、著作権について学ぶことは、今後、子供たちが生きていく上で、非常に大事なことだと思う。

教育出版は、ストリートピアノやインターネットを活用して離れたところでも音楽ができるなど、現代の音楽の触れ方についての記載があり興味深く感じた。総合的に考え、教育芸術社を推薦する。

教育長

教育出版は、外国語の歌唱曲や合唱、手話を取り入れた楽

曲が掲載されていて、多様な教材であり、大変魅力を感じた。

また、先ほどから出ている音楽作りという点では、二次元バーコードを読み込んで活用できるというのも、教育芸術社の魅力ではないか。

「音楽」については、「教育芸術社」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「音楽」については、「教育芸術社」を採択することに決定した。

教育長 次に、「図画工作」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「図画工作」は、「開隆堂出版」、「日本文教出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 開隆堂出版は、完成した作品が多く、日本文教出版は、完成した作品のほかに完成に至るまでの過程の写真が多いように感じた。制作過程が載っていた方が、子供たちもイメージしやすいのではないか。以上のことから、日本文教出版を推薦する。

委員 開隆堂出版は、完成した作品が掲載されており、写真を見た子供たちがゼロから作るイメージに対し、日本文教出版は、制作過程を写真で掲載しており、イメージしやすいように感じた。総合的に考え、日本文教出版を推薦する。

委員 日本文教出版は、掲載している作品やアイデアが多く教科書を見ながら子供たちも様々なものを作っていけると感じた。

一方、開隆堂出版は、イメージを広げる内容となっており、とてもダイナミックな構成になっている。総合的に考えて、開隆堂出版を推薦する。

委員

日本文教出版の方が、子供の作品が多く載っていると感じた。たくさん載っていれば子供たちも真似しながら作ることから作品の幅が広がるのではないか。

また、実際の作品を載せるだけではなくて、色や形をそろえた一覧を載せていることが興味深く感じた。そこから、何かを作る際のヒントを得ることもあるのではないか。総合的に考えて、日本文教出版を推薦する。

教育長

両社の教科書の大きな違いは、制作過程の写真が掲載されているかだと思う。制作過程を見せることの是非があると思うが、制作のヒントに、さらにそこから発想を広げることもあるのではないか。小学校教員で美術を専門とする教員は少ないので、制作過程のヒントは必要ではないかと考える。

「図画工作」については、「日本文教出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「図画工作」については、「日本文教出版」を採択することに決定した。

教育長

次に、「家庭」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長

「家庭」は、「東京書籍」、「開隆堂出版」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 開隆堂出版は、なぜ整理整頓するのか、整理整頓をしなければどのように困るのかというような根本的なことを考えさせる場面や時間を作ろうとしている傾向があるように感じた。総合的に考えて、開隆堂出版を推薦する。

委員 開隆堂出版は、普段の生活では、疑問にも止めないことに目的付けさせる傾向を感じた。総合的に考えて、開隆堂出版を推薦する。

委員 開隆堂出版は、自分で書いたり考えたりする機会を与えているように感じる。また、家庭科だけにとらわれずに、様々な科目と連動させることによって、男の子にも興味を持ってもらえるような取組をしている部分が良い。総合的に考えて、開隆堂出版を推薦する。

委員 どちらも自立に向けて子供たちを育てようという意図が感じられた。開隆堂出版は、日常の当たり前に対して、考えることが自立に結び付くと感じる。また、現在は男女ともに家事等を行うという視点も網羅されている。総合的に考えて、開隆堂出版を推薦する。

教育長 東京書籍は、インターネット上での買物を取り上げて、その際の注意すべきことを詳しく書いており、今後の生活をしていく上で配慮されている点が特色ではないか。

両社を並べて、どちらが見やすいかというと、やはり開隆堂出版の方が見やすいのではないかと感じた。

「家庭」については、「開隆堂出版」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「家庭」については、「開隆堂出版」を採択することに決

定した。

教育長 次に、「保健」について審議を行う。推薦の主な理由等について、事務局から説明願う。

学校教育課長 「保健」は、「東京書籍」、「G a k k e n」が推薦されている。

(審議の概要と推薦理由について、資料により説明)

委員 東京書籍は、答えをすぐに出さずに、子供たちに考えさせたり、気付かせたり、振り返らせたりという部分を丁寧に扱っているように感じた。

G a k k e nは、知識的部分がたくさん載っており、大人でも参考になるような情報が掲載されている。総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員 同様であるが、細かく、丁寧に記載されている。総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員 東京書籍は、単元の1番最初に絵や写真で、これから何を学ぶかを考えることに重点を置き、事前に子供たちに考えさせる内容になっている。一方、G a k k e nは読み物として、非常に面白く、充実している。総合的に考えて、東京書籍を推薦する。

委員 両社とも子供たちが気付きにくく、それでいて大事な部分を統一感を持ちながら構成していると感心している。

導入部分で、東京書籍の方が子供たちの学びに合っているのではないかと考えるため、東京書籍を推薦する。

教育長 導入部分については、東京書籍の生活体験を振り返る入り方の方が子供たちも、自分もそういう場面があったなという

ふうに思い出しながら入りやすいのではないかと思います。

一方、G a k k e nの不安や悩みへの対処というところが非常に手厚く、保健のみならず、様々な場面で学級活動などを通して、生かしていきたい内容だと感じた。

現在、心に悩みを抱えている子供たちが多いため、このG a k k e nの心の悩みの部分について、非常に丁寧に扱っていることは、大変好印象である。

「保健」については、「東京書籍」を採択することにするが良いか。

※ 全員一致により、「保健」については、「東京書籍」を採択することに決定した。

教育長

全ての種目について、採択する教科書が決定したので、最後に、採択する教科書を確認する。

「国語」については「光村図書出版」、「書写」については「光村図書出版」、「社会」については「東京書籍」、「地図」については「帝国書院」、「算数」については「教育出版」、「理科」については「東京書籍」、「生活」については「教育出版」、「音楽」については「教育芸術社」、「図画工作」については「日本文教出版」、「家庭」については「開隆堂出版」、「保健」については「東京書籍」、「英語」については「東京書籍」、「道徳」については「光村図書出版」である。

※ 議案第10号については、「国語」については「光村図書出版」、「書写」に

については「光村図書出版」、「社会」については「東京書籍」、「地図」については「帝国書院」、「算数」については「教育出版」、「理科」については「東京書籍」、「生活」については「教育出版」、「音楽」については「教育芸術社」、「図画工作」については「日本文教出版」、「家庭」については「開隆堂出版」、「保健」については「東京書籍」、「英語」については「東京書籍」、「道徳」については「光村図書出版」の教科書を使用することに決定した。

午後2時35分閉会